

第19回天敵利用研究会プログラム

日 時 2009年11月19日(木) 13:00～20日(金) 12:30
会 場 京成ホテルミラマーレ (千葉市中央区本千葉町)
主 催 天敵利用研究会

第1日目(11月19日)

受付開始 12:00

【開会】

13:00 あいさつ、事務連絡

【一般講演】

講演時間10分(1鈴8分、2鈴10分)、質疑2分(終鈴12分)
講演者は次の講演の座長を担当(1番と9番の講演の座長は事務局)

1 IOBC施設園芸害虫地中海地域WG研究集会に参加して

13:10 矢野栄二(近畿大学)

2 タバコカスミカメのインセクタリープラントとしてのゴマの評価

13:22 ○佐藤正義・大野和朗(宮崎大学)

3 アブラムシ類に対する障壁およびバンカーに用いるためのソルガムの品種比較

13:34 ○星野 滋・松浦昌平・保科 亨(広島県立総合技術研究所農業技術センター)

4 ショクガタマバエを利用したバンカー法のための代替餌、バンカー植物の検討と効果の検証

13:46 ○安部順一朗・熊倉裕史(独)農研機構 近畿中国四国農業研究センター)

5 露地ナス圃場でのヒラタアブ類の働き：天敵供給源としての雑草の役割(仮題)

13:58 ○市川大輔・大野和朗(宮崎大学)

6 ダイコンアブラバチを用いたバンカー法によるアブラムシ防除の可能性

14:10 ○長坂幸吉・岩井秀樹・田淵 研・守屋成一(独)農研機構 中央農業総合研究センター)

7 キイカブリダニのバンカー利用を組み込んだ施設ピーマン類の総合的害虫管理

14:22 ○古味一洋・中石一英・広瀬拓也・児玉幸信(高知県農業技術センター)

8 バラでのカブリダニ利用(2年目)

14:34 関塚知己(神奈川県農業技術センター)

(休憩10分)

シンポジウム 「露地作物における天敵の保護利用とそのための植生管理」

座 長 大野和朗(宮崎大学)

【特別講演】 講演時間20分(1鈴18分、2鈴20分)、質疑5分(終鈴25分)

S 1 海外における植生管理と天敵保護の事例

15:00 平井一男(社)農林水産技術情報協会)

S 2 山梨県の有機栽培圃場における間作・混作とその普及

15:20 國友義博・赤池一彦(山梨県総合農業技術センター)

S 3 長野県における複合交信攪乱剤を用いたキャベツ圃場の土着天敵保護とその問題点

15:50 豊嶋悟郎(長野県野菜花き試験場)

S 4 果樹栽培における植生管理と土着天敵の保護

16:15 豊島真吾(独)農研機構 果樹研究所)

【総合討論】

16:45 特別講演者

座 長

出席者全員

【情報交換会】 京成ホテルミラマーレ 6階 ローズルーム

18:00

20:00

第2日目（11月20日）

【一般講演】 講演時間10分（1鈴8分、2鈴10分）、質疑2分（終鈴12分）

9 沖縄の害虫ハダニとその天敵の種構成の特性

9:00 ○大野 豪¹・宮城聡子¹・喜久村智子¹・榎本雅身²・安部順一朗³・後藤哲雄⁴・北嶋康樹⁴・貴島圭介¹・大石 毅¹・岡島秀治⁵・湯川淳一⁶（¹沖縄県農業研究センター，²横浜植物防疫所，³（独）農研機構 近畿中国四国農業研究センター，⁴茨城大学，⁵東京農業大学，⁶九州大学）

10 千葉県の露地ネギ圃場におけるネギアザミウマおよびネギハモグリバエの土着天敵の発生状況

9:12 ○大井田 寛¹・天野 洋²・内野 憲¹（¹千葉県農林総合研究センター，²京都大学大学院）

11 アザミウマ類を捕食するキイカブリダニの発育、増殖、捕食能力

9:24 望月雅俊（（独）農研機構 果樹研究所 ブドウ・カキ研究拠点）

12 捕食性カブリダニ類の種構成：スワルスキーカブリダニ導入後の変化

9:36 ○山本希枝¹・柿元一樹²・中尾知子²・大野和朗¹（¹宮崎大学，²鹿児島県曾於畑地かんがい農地推進センター）

13 徳島県の促成きゅうり栽培におけるスワルスキーカブリダニを利用した防除事例

9:48 原田正剛（徳島県農林水産総合技術支援センター 技術支援部 美波ブランド推進班）

14 アスパラガス半促成長期どり栽培におけるタバココナジラミに対するスワルスキーカブリダニの防除効果

10:00 高田裕司（長崎県農林技術開発センター）

15 茨城県の半促成栽培ピーマンにおけるスワルスキーカブリダニおよびタイリクヒメハナカメムシの有効性

10:12 ○鹿島哲郎¹・加藤史歩²・星野真西¹・草野尚雄¹・富田恭範¹（¹茨城県農業総合センター 園芸研究所，²茨城県鉾田地域農業改良普及センター）

16 福岡県の施設キュウリにおけるIPM事例

10:24 ○森田茂樹¹・石井貴明¹・柳田裕紹¹・宮本哲平²・松本幸子²（¹福岡県農業総合試験場，²福岡県朝倉普及センター）

（休憩10分）

17 在来シヨクガタマバエの休眠制御とその利用

10:50 山根雅史（近畿大学）

18 キュウリ株上における飛ばないナミテントウの機能の反応

11:02 世古智一（（独）農研機構 近畿中国四国農業研究センター）

19 殺虫剤の使用が飛ばないナミテントウの生存に及ぼす影響

11:14 ○安達鉄矢¹・柴尾 学¹・田中 寛¹・伊藤健司²・手塚俊行²・世古智一³（¹大阪府環境農林水産総合研究所，²株式会社アグリ総研，³（独）農研機構 近畿中国四国農業研究センター）

20 露地ギク栽培でのIPMの推進 土着天敵と導入天敵（飛ばないナミテントウ）の利用の可能性

11:26 ○国本佳範¹・小山裕三¹・印田清秀²（¹奈良県農業総合センター，²奈良県北部農林振興事務所）

21 IPM技術に取り組むことによる施設ナスの多収栽培について

11:38 山口説夫（高知県安芸農業振興センター）

22 天敵Wikiの5年間

11:50 ○木浦卓治¹・菅原幸治¹・田中 寛²・関塚知己³（¹（独）農研機構 中央農業総合研究センター，²大阪府環境農林水産総合研究所，³神奈川県農業技術センター）

【閉会】

12:02